



近つ飛鳥

令和7(2025)年1月9日

学校だより1月号

河南町立近つ飛鳥小学校

新年を迎えて

校長 鍵谷 直毅

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、保護者の皆様・地域の皆様に本校教育活動へ格別のご支援を賜りお礼申し上げます。本年も保護者の皆様・地域の皆様とともに、子どもたちの学びや成長に携わっていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、14日間の冬休みを終え、3学期が始まりました。学校にまた子どもたちの元気な声と笑顔が戻り嬉しく思います。子どもたちの笑顔を見ていると改めて笑顔で接することの大切さを実感します。年末年始は、ご家族やご友人、ご親類の方々と笑顔あふれる時間を過ごされた方も多いと思いますが、「笑う門には福来る」と言われるように、よく笑う人や笑顔を見せる人には自然と幸福が訪れると言われています。素直に笑うこと、素直に笑顔を見せることは、目の前のことを自分から肯定的に受け入れることができている表れだと思います。笑うことで免疫力のバランスも良くなるという研究結果もあるようです。さらに、脳が活性化して、やる気も出てくるそうです。今年も子どもたちの笑顔を大切に、笑顔が溢れる近つ飛鳥小を目指していきたいと思います。

3学期は期間の短い学期になりますが、学習のまとめをしたり、次の学年に上がる準備をしたり、とても大切な学期になります。今年の干支は、巳(蛇)です。蛇は、脱皮を繰り返して成長していくことから、「生まれ変わり」、「変化」、「成長」といった象徴的な意味を持っています。子どもたちには、日々の学習や生活を大切にして様々なことに挑戦し、どんどん自分の殻を破ってしっかり成長しながら、自分の夢や目標に向かって力強く進んでいく3学期そして令和7年(2025年)にしてもらいたいです。

<令和7年度の登校について>

昨年の9月末から10月中旬にかけて実施しました、個別登校（大宝地区）の試行と、実施後のアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートでは、個別登校に「概ね賛成」が86%、「課題がある」が14%となりました。課題としまして、安全面や学年間の交流についてのご心配の意見が寄せられました。

登校のありかたについては、以前より保護者の皆様から様々なご意見をいただいております。集団登校、個別登校それぞれに賛成・反対のご意見がありました。保護者の方々によって生活や安全等についての考え方が違い、ご意見が多様であるのは当然のことだと思います。また、登校班によってもそれぞれ実情が違ふこともあります。これまでのご意見や、アンケート結果、学校協議会、PTA役員会・実行委員会等でのご意見をふまえ、来年度の徒歩通学児童の登校につきましては、子どもたちの登校の状況を見ながら5月の連休明け以降に個別登校を実施させていただきます。5月の連休までの間は、学年やお家の場所をもとに、学校が編成した班での集団登校とし、この集団登校の期間中に、保護者の皆様でお話しいただき、ご近所で誘い合わせて登校する等、登校について決めていただければと思います。個別登校への変更に伴い必ず個別で登校するということではありませんので、保護者の皆様で安全に登校できるようにお話しいただけたらと思います。

なお、今後の予定として、2月25日（火）から3月18日（火）までの期間、再度、徒歩通学児童の個別登校期間を設け、次年度の個別登校へ向けて通学路の確認などを行います。また、新1年生の保護者様へは、2月6日（木）の入学説明会で個別登校についての説明を行い、2月25日（火）からの個別登校期間で、子どもたちの登校の様子を見ていただく機会になればと考えています。6年生卒業後の3月19日（水）からは、新たに編成した班での集団登校を実施いたします。学校でも、子どもたちの安全な登校について、引き続き指導してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。